



グループホーム 萌

あなたのふるさと

9月・10月



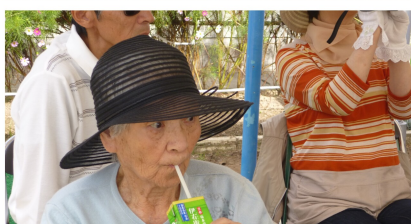
子供みこし

今年も子供みこしがやって来ました。少しの時間ではありましたが、子供達と触れ合う事が出来て、とても喜んでおられました。



一・二階合同運動会見学

今日は粒江の小学校・幼稚園の方達に招待を受けたので、一・二階の利用者様と花の里の利用者様とも一緒に運動会の見学に行ってきました。



「まあ、かわいい」
「がんばれ」

と皆様、かわいい園児の活躍を応援していました。(二〇月八日)



一。二階合同敬老会

一年に一度のお祝い行事として一・二階合同の敬老会を行いました。

食堂では、豪華弁当にかわいいおまんじゅうを頂いて大満足の様子。
また職員やよろこびの庭の子供達からはメッセージカードを頂いて、手に

とって、皆さん、とても喜ばれていました。

また、二階ホールでは、皆で歌を歌ったり、職員手作りの紙芝居を真剣に見たりと楽しまれていました。

楽しい時間は、とても短く感じますね。

皆さん、いつまでもお元気でいて下さいね。(九月一九日)



白熱将棋対決

新入居された野畑様は将棋が大好きだそうです。

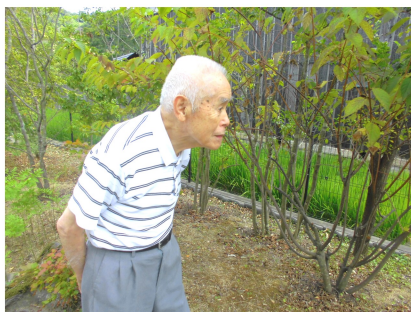


花の里のご利用者様やよろこびの庭の職員さんと、真剣に将棋を指されております。

野畑様は強いようで、「おー、負けた」「またよろしくお願いします。」と楽しそうに将棋をされています。(九月一四日)

山本様散歩

とある九月のお昼から、山本様と職員で萌の裏にある東屋へ散歩に行きました。



日差しが少々強かったのですが、それ以上に涼しい風が吹いていました。「気持ちええ風じゃなあ。また来たいのぉ」と山本様も、とても喜ばれていました。(二階)

9月壁画

今回の壁画はお月見です。「どの動物にしようか?」「おだんごは何個いる?」など、楽しく会話をされながら作っていました。



た。

佳水亭へみんなで外食

二階のみんなで佳水亭へ外食に行きました。

今回は「和食が食べたい」という意見が多く、提供された佳水ランチを皆様、とても喜ばれていました。「美味いけど、料理が多いな」と「デザートをお願いでもいい?」「お刺身がとろけるわ」と大



好評でした。またお出かけしましょうね。(二〇月一九日) (二階)



子供達の楽しみ ハロウィーン

ハロウィーンということで、大勢の子供達が来てくれました。お菓子を渡すと、とても

喜んでくれて、楽しいひとときを過ごせました。(二階)



レクリエーション①



一〇月も皆様とレクリエーションで楽しみました。
トランプは七ならべや、神経衰弱で楽しみ、裁縫では手先が器用で、丁寧に縫い物をしてくれました。
また塗り絵では、きれいな色使いで仕上げて下さり、それぞれに皆様とても集中して楽しんでいました。
と、とても時間が短く感じますね。
来月もレクリエーションで盛り上がりましょうね。
(二階)

レクリエーション②

午後からのレク



レクリエーションで輪投げ、ジューンガ、坊主めくり、広告折りを行いました。皆様、それぞれの時間を楽しまれました。皆様、とても上手でしたよ。(二階)

おやつ作りに挑戦



「チョコレートフォンデュ」を楽しみました。
最初は、「これは何？」「どうするん？」とスタッフに尋ねておられた利用者様も、一〜二回もすればコツをつかまれて、「こうしたらいいよ」「チョコいっぱいつけよう！」「甘くておいしいね」等と、お互いに声を掛け合って作って行きました。とても上手に出来たチョコレートフォンデュを、皆様一緒に美味しく召し上がっておられました。
いつもとは違うおやつタイムに、自然とテンションも上がり、笑顔が沢山見られました。（一〇月一二日）

季節を感じる散歩を楽しむ

今日は天気も良かったので、萌の周りを散歩してきました。
近くに柿の木があり、「たくさ



ん実ってるなあ」「立派な柿の木じゃ」と周辺の景色を楽しみながら、また近づく秋の季節を感じながら楽しい時間を過ごしました。
また天気の良い時に行きましようね。
（一〇月二六日）

野畑様お掃除手伝い



野畑さんが、ご自分の居室だけでなく、廊下やホールまでもモップ掛けして下さいました。この日、いつものように職員が掃除をしていたら、「自分の部屋くらいは自分でする」と声を掛けて下さったので、お願いをしました。
カゴとゴミ箱を持って、熱心にして下さり、とてもきれいになって助かりました。
（一〇月一五日）

荒尾様に裁縫を教える住田さん



荒尾様お誕生日外出

九月一二日は荒尾様の八九歳のお誕生日でした。
お昼に中華ランチを食べにお出かけして来ました。「まあすごい量」



「おいしいなあ」「素敵な誕生日だわ」と喜んで頂きました。これからもお元気で楽しく過ごして下さいね。



仲山様お誕生日会

一〇月一六日に八二歳のお誕生日を迎えられました。この日は一日早めのお祝いで、食事にケ-

キと美味しい物を食べに行かれました。

仲山様も大変喜ばれ、終始笑顔が絶えませんでした。プレゼントのクッションも気に入ってもらえたようで良かったです。仲山さんにとって素敵な一年になりますように。(一〇月一五日)

古谷様お誕生日外出

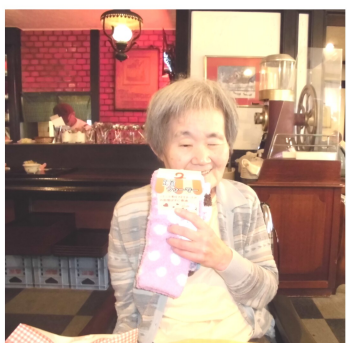
一〇月二七日は古谷様の六七歳のお誕生日でした。

職員と一緒においしい物を食べに行く事を伝えると、にっこりと笑い、「あーそう」と喜んで答えられていました。

お店に着いてケーキセットを注文される時、ご自分でケーキと飲物を選ばれていました。注文した物が来ると、「おいしい」と言われながらパクパクと召し上がっておられました。

お誕生日プレゼントをお渡しすると、「うわあー、ありがとう」とギョツとプレゼントを持たれていました。

この日、と



ても嬉しそうにされ、いろいろとお話をしている。帰ったのですが、次の日に他の職員さんにも、美味しい物を食べに行ったり話をしたり。一緒に行つてよかったあとに思いました。お誕生日おめでとうございます。

「誕生日をめぐる習慣はいつから」

昔は誕生日を祝う対象は宗教的なものでした。創世主であるイエス・キリストが対象となっていました。そう・・・つまりクリスマスですね。

日本に誕生日を祝うという概念が生まれたのは、織田信長が最初だったという説があります。

西洋の神であるキリストの誕生日を祝うのなら・・・ということで、誕生日を祝うという風習を信長が取り入れたという説です。本当かどうかはわかりませんが興味深いエピソードです。

今わかっているところでは、昔、日本では年齢は「数え年」で数えていて数え年は正月に皆一斉に年をとることから、毎年の誕生日を祝う習慣はありませんでした。

つまりお正月と誕生日が同じだったわけです。

日本では、古来より数え年で年齢を計算していました。これは生まれた年を1歳として、誕生日にかかわらず新年元日を迎えるたびに年齢を加算するもの

です。したがって、年をとったことを祝うなら正月であり、誕生日だからといってそれを祝う習慣はないでしょう。

日本で満年齢が導入されたのは明治35年に「年齢計算ニ関スル法律」が施行されてからのことです。それでも、なかなか広く一般に普及しなかったのは、日本の社会における個人のありかたなどの文化的な理由から、日本ではみんなそろって元日に年をとる数え年が普通で、あえて個人の誕生日を祝う習慣がなかったに過ぎないというのが妥当でしょう。

そのため、改めて昭和25年(1950年)1月1日に「年齢のとなえ方に関する法律」を施行しています。

そこで、「誕生日をめぐる習慣はいつから」かということですが、たんに生まれた日としての「誕生日」を祝う習慣なら天皇のような特別なケースに限れば宝亀6年(775年)頃からであり、現在と同様の意味合いでの誕生日を祝う習慣なら早くとも昭和25年(1950年)からということになります。